

山武農業事務所

普及だより

山武農業事務所

山武の



山武農林業振興普及協議会

T 283-0006 東金市東新橋1-1-1

F 0475-54-0226 FAX 52-7914

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/>

平成24年度 農業経営体育成セミナープロジェクト発表会



農業経営体育成セミナー プロジェクト発表会を開催

山武農業事務所では、新規に就農した青年農業者を対象に、3カ年のコースで講義や視察研修を行う「農業経営体育成セミナー」を開催しています。

セミナーでは、1年目は基本研修、2年目の専門研修、3年目の総合研修と段階的に学習を深めていきます。専門研修と総合研修では、研修生が、自分の農業経営の中から、技術課題や経営課題を取り上げ、その解決を目指してプロジェクト学習に取り組んでいます。昨年12月14日、セミナーの「プロジェクト発表会」を開催し、基本研修生6名、専門研修生2名、総合研修生3名が参加しました。専門・総合研修生は、5月の開講式以降それぞれがプロ

ジェクト学習の計画を立て、1年間取り組んだ成果を発表しました。その内容は、栽培技術の工夫や新品目の試験的な栽培に関する課題、並びに販売方法の工夫や経営の実態把握に関する課題等、いずれも研修生の強い意欲と努力が感じられました。

また、基本研修生は、就農してから現在までの感想や、日ごろの農作業で感じたことを発表しました。実際に就農して分かったことや、また、その中から発見した疑問や目標に向けての意気込みを発表しました。各発表後には、多くの質問があり、次年度のプロジェクト学習に繋がるアドバイス等、充実した意見交換をすることができました。

篠本新井地区の 取り組み

横芝光町篠本新井地区では基盤整備を行い、平成22年に3つの営農組合（篠本営農組合・アグリささもと・新井営農組合）が発足しました。昨年度は3営農組合合計で、水稲153ha、大豆9ha、小麦6haを栽培しました。今年度から大豆の採種はの取り組みも始まり、多角的な営農が行われています。

野菜の栽培にも意欲的に取り組んでおり、露地ではネギ、ブロッコリー、サトイモ、タマネギ、ニンニク等、施設ではトマト、ミズナ等が栽培されています。水田であったところを畑にしたため、排水性が悪く、野菜を栽培するには難しい環境でした。しかし堆肥の施用による土壌改良、もみ殻による簡易暗きよ剤、もみ殻くん炭のすき込みにより排水性を改善し、栽培環境を徐々に整えています。

今の時期はネギの出荷が盛ん



です。平成24年の夏は猛暑の影響を受け、ネギの管理には苦労しました。しかし9月に入り涼しくなるにつれて徐々に勢いを取り戻し、品質の良いものが出荷できるようになりました。

篠本新井地区では今後も米・麦・大豆と共に高品質な野菜の生産に取り組んでいきます。

④ ほ場に掘った溝にもみ殻を入れて、みず道を作ることによって排水を良くする技術

ネギのネコブセンチュウに御注意ください

最近、ネギにネコブセンチュウの被害が発生しています。今までネギでネコブセンチュウの被害はそれほど問題になっていませんでしたが、ここ1〜2年、管内各地で被害が見られるようになりました。

〔症状〕

- ・葉が踊ったように暴れる。
- ・生育が悪く、葉の色が淡い。
- ・根に小さなコブが付いている。

このような症状は暑い時期にみられ、気温が下がってくると目立たなくなりますが、センチュウは気温の高い時期に盛んに活動し、逆にネギは暑さに弱いため、夏季の被害が大きいと推測されます。昨年は残暑が厳しかったため、8月から9月にかけて多くのほ場でこのような症状が発生しました。

ネコブセンチュウの密度が高いほ場では、生育不良を起こし



たり、葉が畦間に倒れ込んだりするため、培土もしづらくなります。そして、センチュウは次作に残り、年々被害が拡大します。昨年、ネコブセンチュウと思われる症状が出たほ場では次の対策を取ってください。

〔対策〕

- ・定植前に殺センチュウ剤（ラグビーMC粒剤）を処理する。
- ・土壌消毒を行う。
- ・ネギを休み、センチュウ対抗植物を栽培する。

また、センチュウは機械などに付いて持ち込まれることもありますので、農機具の洗浄を心がけてください。

乳用種の交配を 見直して みましよう

酪農経営においては、定期的な牛の更新が必要です。例えば、経産牛40頭の牛群で更新率が25%とすると、毎年10頭の後継牛が必要です。後継牛の確保には、外部から購入する方法と、自己の経営内で確保する方法があります。

外部から購入する場合、初妊牛の価格は1頭あたり50万円前後（ホクレン家畜市場平均）と安くはありません。また、市場に出る頭数も安定していません。

自己の経営内で後継牛を確保するには、牛群において7割に乳用種を交配する必要があり、3割を超えるF1(牝生産やE1(受精卵移植)による和牛生産は、後継牛の安定的な確保に支障をきたします。

千葉県では、平成7年度の黒毛和種平均交配率は20・7%

したが、平成23年度は45・8%で、後継牛は外部から購入して確保している状況です。

また、牛群の改良を考える場合、後継牛が産乳をはじめには2年程度かかります。1年に1産しかできないので、初産牛に黒毛和種を交配した場合、改良には、3年がかかってしまいます。

経営内で安定的に後継牛を確保するために、また、牛群を改良するためにも、乳用種の交配を進めましょう。

(注) ホルスタイン雌牛に黒毛和種雄牛を交配した交雑種



水稲育苗期の 細菌病対策

細菌病対策

昨年の水稲育苗期は、もみ枯細菌病等の細菌病が多発しました。育苗中にこの病気に感染した苗は褐変し、やがて腐敗します。発病後に有効な治療法がないため、予防が重要です。

【対策】

① 育苗箱

育苗箱は洗浄後、消毒を行い、乾燥させます。特に昨年、細菌病が発生した場合は必ず行いましょう。

② 用土と種子

用土にはpH4.5～5.5に調整した山土か、市販の培土等を用います。なお、pHの高い用土や窒素過多によって発病が促進されるため、pHや標準施肥量を守りましょう。

また種子は、できるだけ購入したものを使用します。種子消毒や用土には、細菌病に効果のある薬剤を使用しましょう(表)。

③ 播種

稚苗育苗の場合、最適播種量は、乾もみ130～150g/箱です。高密度の環境は、細菌の繁殖を助長します。

④ 育苗管理

細菌病は、水により伝染します。箱外に流出した灌水により、周囲に拡散するため、床面には有孔ポリ等を敷き、排水を良くします。また、30℃以上の高温や多湿は、細菌病の発生を助長するため、温度や灌水の管理にも気をつけましょう。

表：細菌病に効果のある薬剤例

	薬 剤 名
育 苗 箱	ケミクロンG
用 土	カスミン粒剤
	カスミン液剤
種子消毒	フタバロンA 粉剤
	ヘルシードTフロアブル
	エコホープ
	エコホープDJ
	タフブロック
	テクリードCフロアブル モミガードC・DF

平成24年度認証 農業士の紹介

今年度新たに3名の農業士が認証されました。山武地域の担い手として益々の御活躍が期待されます。

○橋本 光昭氏 (山武市)



ネギと水稲の複合経営をしています。

○宇津木 裕幸氏 (山武市)



大規模な水稲専作経営をしています。

○戸村 浩章氏 (山武市)



スイカとニンジンを中心とした露地野菜経営をしています。

海外でも好評です！ 東金の植木

近年、東金市植木組合ではEU圏や中国への植木輸出が盛んで、海外市場調査を実施し、国際園芸博覧会にも参加しています。昨年度は千葉県の事業を利用して中国とベトナムの市場調査を実施し、今年度はオランダで1年に一度開催されるフェンロー国際園芸博覧会（フロリアード2012）に東金市農業振興会の補助を受けて参加しました。



EU圏で経済不安が拡大する中でも植木ブームは衰えを見せず、千葉県展覧会ブースは大盛況でした。日本ブームもあいまって、伝統的な地下足袋スタイルでの植木刈り込みデモンストラーションは非常に注目されました。

山武農林業 フォーラムの開催

11月14日(水) 山武市成東文化会館のぎくプラザに、農林業者・消費者と関係者220名が集い、「食と農の底力」がテーマの「食と農の底力」を開催しました。

オープニングは東金市在住のフオークユニット「ありっば」のミニライブで和やかに始まり、続いて、取り組み事例として、「アグリさんむの食育活動」と「横芝光町農業振興会青年部会並びに合同会社S.O.Z.Oの農業婚活」が発表されました。その後、(社)農山漁村文化協会編集局の甲斐良治次長より、地域の資源をつなげた地域活性化について講演を頂きました。

参加者が、これからの山武の農林業を考え、更なる地域の活性化や発展に取り組むことへの理解を深めたフォーラムでした。

平成25年度 農業経営体育成セミナーの 参加者を募集します

新規に就農した青年農業者を対象に、同世代のネットワーキング作りと、農業の基礎から専門的な知識・技術を身に付ける事を目的に開催します。是非御参加ください。

- ・対象：象：新規に就農した概ね35歳までの青年農業者
- ・内容：講義及び現地視察等毎月1回程度
- ・開催場所：山武農業事務所並びに管内の現地等
- ・研修期間：3年間
- ・参加費：原則として無料
- ・申込先：山武農業事務所

改良普及課

0475-54-0226

